自分の体に関心をもち，進んで健康な生活を送る児童の育成
～口は「生きる」の入り口～

岡山県加賀郡吉備中央町立御北小学校８学級　６１名

研究について

本校では,「児童の興味・関心を生かし，実践力が高まる授業づくり」,「児童の意識が高まり，継続する日常生活の指導や環境整備」,「家庭や地域等との連携」の３点に研究の重点を置いた。そして,「口は『生きる』の入り口」を合い言葉に，ヘルスプロモーションの理念を生かしながら児童の歯・口の健康づくりを進めてきた。

実施内容

授業実践

★歯っぴースタディ

従来から行っていたものを各学年の系統性を考え,「知識編」「技能編」に分けた。技能編では,「歯みがきレシピ」を作成し,歯みがきの技能を高めるようにした。

★TT 指導を生かした授業

養護教諭,栄養教諭,歯科医，歯科衛生士,栄養委員,保健師など,様々な専門的な立場の人に授業に参加してもらった。専門的な知識がある人の説明やアドバイスに，児童は熱心に耳を傾けていた。

日常活動

★歯っぴー銀行

健康診断の後や,ヘルスプロモーション活動後などに金貨を発行し，健康貯金をしている。

★校内歯垢染め出し検査

２ヶ月に１回のペースで行った。記録用紙も用いて，継続した指導を行った。

★昼の歯みがき指導

給食後の歯みがきを時程に組み込み，全校一斉に行っている。毎月８日に歯ブラシチェックも行っている。

歯・口の健康づくりへ

★学校便りや学級通信,歯っぴー通信による啓発

★健康参観日や歯みがき教室の実施

全学年での歯・口の健康に関する授業の公開や，学校歯科医の先生による歯みがき教室を行った。

★幼稚園や人生大学等での発表

１年間で学んだことを，幼稚園に訪問して伝えたり，地域の方に報告したりした。この活動により,今年度の１年生は入学前から歯・口の知識が広がっている。

家庭・地域等との連携

★学童歯みがき大会への参加

★歯っぴー集会の開催

各学年で学んだことを保護者,地域の人たちに紹介した。また,６年生が作った替え歌を全員で披露したり,委員会による歯っぴークッキングを行ったりした。

★歯・口の健康診断

事前指導，健康診断，事後指導の流れを明確にした。歯っぴー調査票により自分の歯・口の状態を振り返るようにした。

学校行事や児童会活動